



ESD担い手ミーティング(2017年3月16日)

(特非) さっぽろ自由学校「遊」

北海道道央圏における SDGsローカル・アジェンダの 策定とESD地域拠点形成

一般助成

2年目

知識の提供・
普及啓発

ワークショップの
延べ参加人数 **272人**

ワークショップで
挙げられた目標案の数 **292個**

活動の全体目標に
対する達成度 **60%**

課 題

- ESDへの積極的な取り組みが自治体レベルではほとんどみられず広がりに乏しい。
- ESDの捉え方が既存の活動の延長にとどまり、開発や教育の変革につながっていない。

活動内容

ESDの地域プラットフォームとしてのRCE北海道道央圏の設立に参画し、その協働プロジェクトとしてSDGsを下敷きとした北海道の地域目標づくりのためのワークショップを継続的に実施した。また、SDGsやローカルアジェンダづくりの意義を広く伝えるため、ワークショップのプロセスと成果をまとめた小冊子『SDGs北海道の地域目標をつくらう』を作成した。



小冊子『SDGs 北海道の地域目標をつくらう』

今後の課題

- 自治体に積極的にアプローチし、地域政策にSDGsを反映させること。
- SDGsそのものの理解を広げていくこと。(札幌以外の地域での実践)

成果と工夫した ポイント



成果

ESDの地域拠点となるRCE北海道道央圏が設立され40組織が参画。その協働プロジェクトとしてSDGsの北海道目標づくりワークショップを計11回開催し、その成果を小冊子(2500部発行)にまとめた。

工夫

SDGsの包括性を活かしつつ、地域の重要課題も盛り込みながら、息切れしないスパンで継続すること。